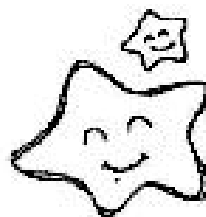


# QSK にぬふあぶし

No.230

ね  
子の方向の星(北極星)



## みんなねっと福岡大会に参加して

當山 幸子 (読谷村家族会)

平成27年9月28日(月)・29日(火)、『第8回全国精神保健福祉家族大会 ～当事者の力、家族の力、地域の力が未来を拓く～』に参加してきました。

オープニングセレモニーは、福祉サービス事業所『JOY 倶楽部』の皆さんによる演奏で、カーペンターズの曲がとっても懐かしく、一緒に踊りたくなりました。年間約60回も公演を行なっているという話に感動しました。

基調講演は藤井克徳氏の『戦後70年と障害者権利条約』。精神障がい者施策の課題と展望ということで、その中で印象に残ったことは、

- ① 戦後70年、精神障がい者にとっても大きな転換期を迎えている。
- ② 『キラキラ輝く障がい者権利条約』
  - ☆ 世界ルール、共通ルール、共通言語
  - ☆ 北極星(みんなが合意できる目標)
  - ☆ 社会へのイエローカード(効率一辺倒の社会のあり方への警鐘)
- ③ 『か行の5段活用』
  - か=隠さない(顔を上げる)
  - き=決めつけない
  - く=悔やまない
  - (過去を悔やんでも返ってこない)
  - け=健康第一
  - こ=孤立を避ける





また、これからの家族のあり方として「まずは集まりましょう!」ということ。集まるからエネルギーが生まれる、学ぶことができる。

すぐに実践的に動きたいと思いました。

記念講演は、門屋充朗氏の『**精神病となっても希望をもって生きられる ～これからはみんなで本人中心の暮らしを応援しよう～**』。

本人中心の支援を基本とすることから、

**※考えを変える ※現実対応を変える ※制度も変える**

周囲が本人を信じることが基本です。信じられた本人は自分を信じ、自信を持てるようになる。親亡き後もケアマネージャーに相談し、希望を持って生きるために必要な考え方に変わっていく。ストレングス、強み、力、そして合言葉はリカバリー。回復の心音をしっかり聞いて生きていきたいと思いました。

2日目の分科会は『**家族と家族会の力の役割**』に参加しました。

**① 主体性のある家族会活動を模索して(鈴山日出年/長崎県ゆみはり会)**

家族による家族学習会の実施。

家族のために役立てる場として、家族主体の学習会。

読谷でも早く、家族学習会に多くの人に参加してもらえるように進めていきたいと思いました。

**② 家族相談員でよかった! 家族の力はすごい!(河上紀子/園田家族会)**

電話相談をしていて、相手のかたに「心が軽くなって希望が湧いてきました」と言ってもらえたことが嬉しかったという話が心に残りました。

**③ 家族会の実践から 家族会活動の取りくみ(林信子/堺望の会)**

大家連の活動内容についてと、働きかけ、学び合い、支え合いの3つの役割バランスの話。

自分自身の変化は人の役に立てるということ。

気持ち、考え方の整理ができました。

こうした家族学習会を沖縄県でも始めていきたい。そして参加をし、学び続けていきたいと思いました。

みんなネット福岡大会に参加させて頂き感謝です。有難うございました。

## ウガンジュとホームランボール

屋良縄洋司

プロ野球キャンプの時期になると、ムラムラしてくるのである。

春だからエロスが高まる……とかではない。ムラムラと沖縄に行きたくなるのだ。ぼくは東京在住の中日ドラゴンズのファンだから、オープン戦や練習で中日の選手を好きなだけ間近で見られる沖縄キャンプがすごく楽しい……というのはもちろんある。でも、それだけではなく、あつたかくて、おいしくて、優しい沖縄が大好きなのである。

ってことで、てるしのワークセンターで働かせていただいてからちょうど1年経った2月、ぼくはやっぱり沖縄へ行くことにした。

ところで、出発する直前に、インターネットのツイッターへ「行くぜー！」と書いたら、てるしので出会ったIさんからツイッターで接触があったのである。どんな話かという、Iさんがいま自動車免許の教習所に通っていて、本免許の試験がもうすぐあるから、そこら中のウガンジュ(拝所)で合格祈願をしてきてほしいというのである。ぼくは「してくるしてくるwww」と答えて、沖縄に飛行機が到着した次の日には、朝から末吉へ向かったのである。

ゆいレールの市立病院前～儀保かいわいにある末吉公園一帯には、末吉宮を取り囲むように、それこそ10や20じゃきかない数の拝所がある。それに気づいたのは5年くらい前だったと思うが、末吉宮へ行こうとして道を間違え、クワズイモが生い茂った小道へうっかり迷い込んだのがきっかけだった。

住宅地の真ん中とはまったく思えないような、うっそうと茂った森の中の鍾乳石や湧き水の前のそこかしこに香炉が置いて

あるのを見て、最初は、こんな聖地みたいなところへ部外者が入り込んで、どんなバチが当たるかとドキドキした。でも、拝所の横にえてしてホウキが置いてあるのに気がつき、試しに香炉の前を掃きそうしてみたら気持ちが落ち着いたので、それからは、末吉の小道をたどるのがどんどん楽しくなり、拝所を見かけたら自己流で手を合わせるようになった。拝所がたくさんある場所への途中に建っている「子の方入口」という石碑の読みが「にぬふあ」なのに気づいてからは、ああ、「にぬふあぶし」だ、と親しみも感じている。去年、そんな話をてるしので何度かしたので、それでIさんにお祈りを頼まれたのだ。

末吉でウガンジュを巡る際には、いつも、なんとなく一番最初に末吉宮へ行く。そこだけ神社なので、一応、二礼して「パンパン！」と二拍してからお祈りする。以前は末吉宮だけ心の中で唱える文句も本土の神社風にしていたが、最近は拝所と同じに統一している。だいたいこんな感じで祈りはじめる。

「トートー、トートー。東京都板橋区〇〇、△丁目3-1-10×号室在住、46歳西年の屋良縄洋司と申します。どうか私にいいことありますように」

住所や干支を言わないと神さまにどのだれだかわかってもらえない、と聞いたのは宮古島の友人からだったか。彼からはウートートーというお祈りも教わったが、「ウー」つきは仏壇の前で使うものだとは別な人から聞いたのでトートーに変えてみた。

「トートー、トートー。それから、南風原在住30がらみの亥年、I・Kさんがどーか自動車免許の試験に受かりますように」

今回は特に頼まれていたので、自分の次にIさんのことをお願い。でも、これで終えるのもなんだかもったいなくて。

「それからそれから一、大阪府在住、卯年のE子にいいことありますよーに一。○在住N美にも～」などと片思いの女の子何人かのこともこっそり祈ってみたりして。で、最後に、

「みんなみんなに、どーかいいことありますよーに一」

と、×る。これが最新の自己流お祈り文句である。拝所は神社ではないので拍手は打たず、手を合わせて上記のような文句を頭の中で唱える。今回はIさんの必勝を期して、末吉宮の後、宇天火ぬ神、

黄金軸、宇天軸、宇天みるく御水(糸満や今帰仁などの井戸と地下でつながっていると石碑に書いてある)など計7か所回って北斗七星ぼく祈願してみた。

数日後、てるしのへ伺ったら、Iさんは1回落ちたものの次の日再挑戦して見事、免許の本試験に受かったとのことだった。ぼくに関しては、きょうのオープン戦を外野席で観戦中、突然の強風とスコールに耐えかねて折りたたみ傘を開いたら、その直後にひいきの中日の選手が打ったホームランボールがぼくのすぐ横に着弾するも、傘で見えなかったため他の人に拾われてから気づく、ということがあった。Iさんの見立てでは、「ウガンジュの効果は少し遅れて顕れてくるのかもしれない」ということだったので、ボールの代わりにそのうち片思いがかなうのかもしれない。そうだったらいいさー(笑)。

## 「精神障害者の交通運賃に関する請願署名」について

皆さんのお手元に上記の署名用紙は、ありませんか。署名のとりまとめを2016年3月末日までに行いますので、沖縄県内の方は沖縄福連に送付ねがいます(持参、郵送)。

みんなねっとでは、2016年3月15日(火)に厚生労働省で、障害者差別解消法施行に伴う「精神障害者の交通運賃に関する国会請願行動」の合同記者会見をおこなう予定です。

### ◎ 編集後記 ◎

見ると安かったので、栃木の実家にスターフルーツを送りました。ついでに自分用にアテモヤ(別名:森のアイスクリーム)という果物も初めて買ってみました。大きな種子がたくさん入っていて、食べるのが楽ではないのですが、これもまた機会があったら、実家の父に送ってみたいと思います。(増山)

編集:公益社団法人沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 島田 正博

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行:九州障害者定期刊行物協会

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-16-1 毎日福岡会館 7F

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価:10円(会費に含まれる)